

# ファンド評価レポート

2026年3月末基準

 いちよしアセットマネジメント

# 代表挨拶

いちよしアセットマネジメント株式会社は、いちよしグループクレドにおける経営理念である「お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける」を経営の柱と位置づけております。そのためにはお客様のニーズに応え、お客様の利益を最大化していくことが使命であり、当社としての「お客様本位の業務運営」の中心をなすものと考えております。

2025年7月より、当社のプロダクトガバナンス(お客様の最善の利益に適う商品提供を確保するための取組み)を一層推進していくために「ファンド評価レポート」を発行を開始いたしました。当レポートでは、当社のプロダクトガバナンスに関する方針や運用体制をご説明し、当社が設定・運用する公募投資信託について、ファンドの品質等に関する評価結果および改善対応の状況について、定期的にお客様にご報告しております。今後もお客様にとって無くてはならない確固たる存在感のある資産運用会社を目指してまいります。

2026年6月  
いちよしアセットマネジメント株式会社  
代表取締役社長  
秋野 充成

# プロダクトガバナンスに関する方針

## 基本理念

当社は、社会や市場の変化に対応した質の高いサービス・商品・情報の提供を掲げる「いちよしのクレド」のもと「中小型株の長期投資を資産形成のスタンダードアイテムに」することを目指しています。

当社は中小型株の運用を長きにわたり実践し、運用ノウハウを蓄積するとともに、中小型株のリサーチについてもグループ力の活用に努めており、それらが当社の強みと認識しています。この専門性を更に向上させつつ運用や商品開発を通じてお客様の真のニーズに応えるべく、お客様の最善の利益に適った商品提供等を確保するためのガバナンス(プロダクトガバナンス)の構築と実践を行ってまいります。

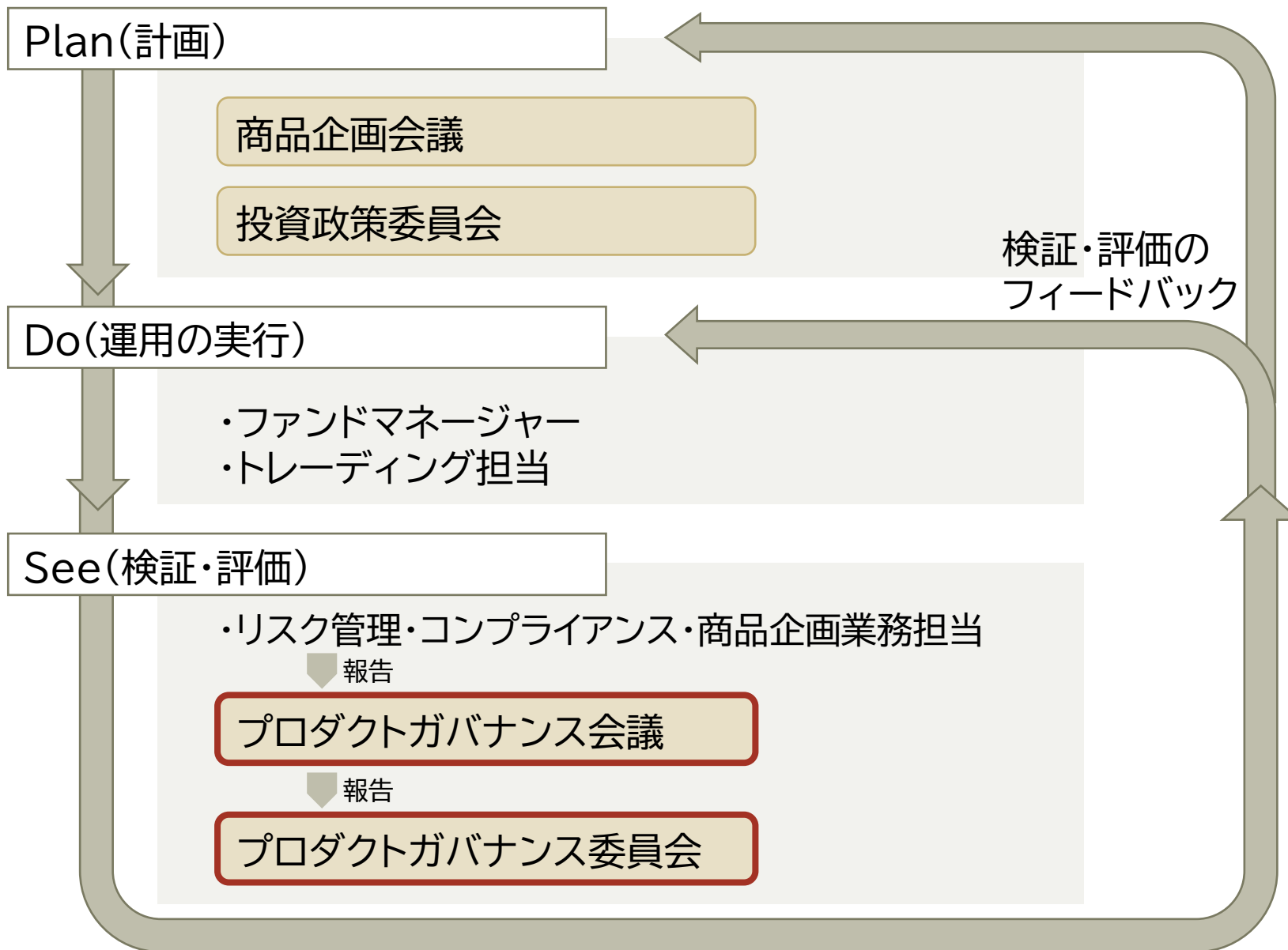
## プロダクトガバナンス体制

プロダクトガバナンスの実効性を確保するための体制は以下のとおりです。

当社が設定・運用する金融商品に関する検証・評価を行う機関として、取締役社長を議長とするプロダクトガバナンス会議を設置し、金融商品の商品性、品質管理、情報提供等に係る協議を行います。

また、同会議の検証・評価結果に関する第三者検証を行う機関として、社外取締役等で構成するプロダクトガバナンス委員会を設置し、同委員会での意見は取締役会へ報告されます。

# プロダクトガバナンス体制(当社の運用体制)



# プロダクト(ファンド)評価の方法

## 評価対象ファンド

- ・当社が設定する公募投資信託を対象に評価します。

※中小型株の長期投資を資産形成のスタンダードアイテムにするという当社のマテリアリティに基づき、運用開始から3年未満のファンドは対象外とします。

※ファンドラップ専用投資信託は、ファンドラップのサービス全体としてガバナンスの枠組みに沿った体制を構築する必要があり、複数ファンドの組合せによりお客様の資産形成に資するパフォーマンスを提供することを意図して組成したファンドのため対象外とします。

## 運用実績

- ・コスト控除後のパフォーマンスが、競争力のある水準となっているか。

※外部評価機関(Morningstar)の各商品分類\*における3年、5年の相対評価を参考として、各ファンドを評価します。

\* Morningstarによるモーニングスター・カテゴリを使用し、恣意性を排除しております。

※各ファンドの評価は、3年、5年の各期間で「上位」/「中位」/「下位」/「劣位」に分類します。3年、5年の評価が「劣位」にあり、改善すべき点があると評価したファンドを「Red」とします。

※外部評価機関の商品分類が適切でないと判断したファンドは対象外とします。

## 商品性

- ・商品特性、パフォーマンスに合った適正なコスト水準で長期的な資産形成に資するか。

※コスト(信託報酬等)が、各商品分類のファンドと比較してパフォーマンスを勘案したうえでも高水準となっていないか評価します。

※コストが相対的に高水準でパフォーマンスが相対的に低水準な場合、運用方針に沿った運用が継続可能か定性的に判断した結果、改善すべき点があると評価したファンドを「Red」とします。

# プロダクト(ファンド)評価結果総括

- ・2026年3月末における公募投資信託(13本)のうち、対象外を除いた7本を評価しました。
- ・運用実績あるいは商品性の項目で、「Red」に該当すると評価したファンドは1本でした。
- ・各項目において、「Red」ではないものの、留意すべき点があると評価したファンドは、引き続き、お客様の長期的な資産形成に資する付加価値を提供できるよう、取組んでまいります。

	運用実績	商品性	お客様への長期的な付加価値提供の実現に向けて
G (Green)	4本	5本	価値提供に向けて取組んでいるファンド
Y (Yellow)	2本	2本	留意すべき点があると評価したファンド
R (Red)	1本	0本	改善すべき点があると評価したファンド
※	0本	0本	対象外のファンド

ファンド名	運用実績	商品性
いちよしインフラ関連成長株ファンド(愛称:ジャパン・インフラ)	Y	Y
いちよし中小型成長株ファンド(愛称:あすなろ)	G	G
いちよし日本好配当株&Jリートファンド(愛称:明日葉(あしたば))資産成長型	G	G
いちよし日本好配当株&Jリートファンド(愛称:明日葉(あしたば))年4回決算型	G	G
いちよし・インバスコ 世界中小型成長株ファンド(愛称:なないろ)	Y	G
いちよしジャパン成長株ファンド(愛称:天の川)	R	Y
いちよしSDGs中小型株ファンド	G	G

※ ファンドラップ専用投資信託は、ファンドラップのサービス全体としてガバナンスの枠組みに沿った体制を構築する必要があり、複数ファンドの組合せによりお客様の資産形成に資するパフォーマンスを提供することを意図して組成したファンドのため対象外とします。

# プロダクト(ファンド)評価結果

以下のファンドは、お客様への長期的な付加価値提供の実現に向けて、「留意すべき点がある」と評価したファンドです。

各該当項目に対する対応方針は以下のとおりです。

ファンド名	運用実績	商品性
いちよしインフラ関連成長株ファンド(愛称:ジャパン・インフラ)	Y	Y

## 運用実績

留意すべき点および今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・相対評価が、3年で下位、5年で下位、となっています。</li><li>・ファンドコンセプトに沿った有望銘柄の選別投資をより強化するとともに、ボラティリティを抑制しながら安定的なポートフォリオを構築できるよう留意してまいります。</li></ul>
------------------	--

## 商品性

留意すべき点および今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・コストが相対的に高水準で、パフォーマンスが相対的に低水準となっています。</li><li>・運用実績の今後の対応方針をふまえ、商品特性、パフォーマンスに合った適正なコスト水準で長期的な資産形成に資するかどうか確認してまいります。</li></ul>
------------------	---

# プロダクト(ファンド)評価結果

以下のファンドは、お客様への長期的な付加価値提供の実現に向けて、「留意すべき点がある」と評価したファンドです。

各該当項目に対する対応方針は以下のとおりです。

ファンド名	運用実績	商品性
いちよし・インベスコ 世界中小型成長株ファンド(愛称:なないろ)	Y	G

## 運用実績

留意すべき点および今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・相対評価が、3年で下位、5年で下位、となっています。</li><li>・引き続き、大型株に対する中小型株の相対的な優位性に着目し、有望銘柄の選別投資をより強化するとともに、最適なポートフォリオ構築ができるよう留意してまいります。</li></ul>
------------------	---

# プロダクト(ファンド)評価結果

以下のファンドは、お客様への長期的な付加価値提供の実現に向けて「改善すべき点がある」、「留意すべき点がある」と評価したファンドです。

各該当項目に対する対応方針は以下のとおりです。

ファンド名	運用実績	商品性
いちよしジャパン成長株ファンド(愛称:天の川)	R	Y

## 運用実績

課題認識	<ul style="list-style-type: none"><li>・相対評価が、3年で劣位、5年で劣位、となっています。</li><li>・AIディスラプション(AIによる破壊的変革)が与えるネガティブな影響が過度に懸念された大手IT株や、ITソフトウェア関連を中心とした小型グロース銘柄の組入れ等が相対評価でマイナスに影響しました。</li></ul>
改善に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"><li>・ファンドコンセプトに則った有望銘柄への選別投資を強化するとともに、市場環境に合わせて中小型株比率を機動的に変動させ、早期での相対評価の改善を図るべく最適なポートフォリオ構築ができるよう取組んでまいります。</li></ul>

## 商品性

留意すべき点および今後の対応方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・コストが相対的に高水準で、パフォーマンスが相対的に低水準となっています。</li><li>・運用実績の課題認識、改善に向けた取組みをふまえ、商品特性、パフォーマンスに合った適正なコスト水準で長期的な資産形成に資するかどうか確認してまいります。</li></ul>
------------------	--

# 当資料に関するご留意事項等

## Morningstar について

©2025 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1) Morningstar および／またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2) 複製または配布してはならず、(3) ライセンサーおよび Morningstar が提供する投資等の助言ではなく、(4) 正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。Morningstar およびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

当資料は、いちよしアセットマネジメント株式会社がプロダクトガバナンスの取組みとして実施した自社ファンドの評価結果をお知らせするために作成したものです。

- 当資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。
- 当資料の内容は作成基準日の当社の見解であり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。
- 当資料は過去の一定期間の実績を分析したものであり、将来の運用成果等を保証したものではありません。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的財産権、その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託のご購入にあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)および目論見書補完書面の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



商号等：いちよしアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会